



メンテの型、技、そして心

PEC(Postgraduate Education Course) 主宰

豊中市開業 山本浩正

定期健診でお見えになった患者さんとの会話。

患者さん 『私の歯はあとどれくらい持ちますか?』

私 『身体の寿命と同じように、歯の寿命も言い当てるのは難しいですね〜。』

患者さん 『定期健診を受けていれば歯が長持ちしますか?』

私 『それは証明されていますよ。歯医者に全く行かない人に比べてほしい3倍長持ちするようです。』

患者さん 『そんなに寿命が延びるんですね。頑張ってください!』

上手くいって現状維持という“スッキリしない”目標を目指すメンテナンスでは、施術している我々自身も『果たしてこのメンテナンスで患者さんは得をしているのだろうか?』と懐疑的になることがある。しかし疫学データを見てみると多くの場合、メンテナンスに継続的に来院される患者さんの歯の寿命は長い。治療やメンテナンスを受けておられない患者さんでは10年間で平均3本前後の歯を失うのに対して、メンテナンスをきっちり受けておられる患者さんでは平均1本前後に抑えられている。歯の寿命が実に約3倍伸びる計算である。その場合、患者さんが“きっちり”来院されることが大切なようだ。同じメンテナンス患者さんでも“たまにしか来ない患者さん”と“きっちり来る患者さん”で歯の寿命がまたまた3倍違うという報告もある。

では何が歯の寿命を延ばしているのだろうか? 定期的なクリーニングで細菌バイオフィルムを破壊することは意義がありそうだ。でもクリーニングだけで歯の寿命が延びるというエビデンスはあいまいである。そこにセルフケアのチェックや生活指導などが加わると“少し”効果がはっきりしてくる。結局あいまいなままなのだが、どうも私には“継続”ということにヒントが隠れているように思える。(あくまで私見です) 継続していることによってわずかな変化を早期に捉え、対処できることが歯の寿命に貢献しているのかもしれない。あるいは継続して来てもらえるような信頼関係が築かれているからこそ、日々のセルフケアが安定しているのかもしれない。また継続して来てもらえるくらい動的治療での改善に納得、満足されているのかもしれない。でもきっと今の科学では結論にたどり着けないだろう。

帰納法的には『メンテナンスで患者さんは得をする』とわかっているわけだから、それを最大化する努力は意義があるだろう。まずはステージ作りからである。歯科衛生士というプロが演技できるステージを用意しなければならない。この院内システムという“型”を作ることにより歯科衛生士は安定したメンテナンスプログラムを繰り返し広げることができる。そして、その型の中で成熟していくにつれ、“個”のレベルが上がっていく。成熟過程では、“技”の上達と“心”の通った信頼関係の構築が必須である。なぜなら患者さんは“下手な”施術は受けたくないし、“深く信じた”歯科衛生士に担当してもらいたい

から。今回の愛知県歯科医学大会では歯科衛生士にスポットをあてたメンテナンスのお話をさせていただく。“型”、“技”、“心”の3方向から捉えることで包括的な話を目指してみたい。

山本 浩正 (やまもと ひろまさ)

豊中市開業 PEC (Postgraduate Education Course) 主宰

【略 歴】

1985年 大阪大学歯学部卒業 (昭和60年3月25日)
1985年 ON デンタルクリニック (現貴和会歯科診療所) 勤務
1987年 Institute for Advanced Dental Studies にて研修
1989年 米国歯周病学会会員、JIADS 常任講師 (2003年退任)
1994年 山本歯科開設
1998年～2002年 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座在籍
2002年 大阪大学歯学部非常勤講師
2002年～2005年 PHEC (Professional Hygienist Education Course) 常任講師
2006年～ PEC (Postgraduate Education Course) 主宰
2007年～ 新潟大学歯学部非常勤講師
2009年～ 大阪大学歯学部招聘教員

【著 書】

- イラストで語るペリオのためのバイオロジー、クインテッセンス出版、東京、2002年
- Dr.Hiro の超明解ペリオドントロジー、クインテッセンス出版、東京、2004年
(本書の改訂版、Dr.Hiro の知って納得！ペリオドントロジー、2010年)
- ペリオのインテリジェンスを高めるレビュー・ザ・ペリオ、クインテッセンス出版、東京、2005年
- 治療の流れを探って 4つの診療室、永末書店、京都、2005年
- Dr.Hiro のペリオな気分でメンテナンス、松風、京都、2006年
- ペリオの臨床戦略を学ぶ歯周動的治療、クインテッセンス出版、東京、2007年
- 超明解 メンテ・ザ・ペリオ、クインテッセンス出版、東京、2008年
- 長期メンテナンスに挑もう！監修、クインテッセンス出版、東京、2008年
- Dr.Hiro のペリオでUP!! 患者満足度、クインテッセンス出版、東京、2010年
- Periodontal Team Therapy 歯科医師の視点、歯科衛生士の視点、医歯薬出版、東京、2010年
- 歯周抗菌療法 - 感染症医的な視点から -、クインテッセンス出版、東京、2012年
- Dr.Hiro の実践！歯周治療 インストゥルメンテーション マスターブック、クインテッセンス出版、東京、2012年
- ペリオリテラシー 歯周治療をめぐる情報のインプット・英知のアウトプット、医歯薬出版、東京、2013年
- 人はなぜ歯周病になってしまうのか 環境遺伝学からみた最新ペリオドントロジー、クインテッセンス出版、東京、2014年
- ペリオバカ養成講座 ～学びの門戸を開く100の質問～、医歯薬出版、東京、2014年
- SRP 修行論 - 秘伝トレーニングメソッドの公開 -、永末書店、京都、2015年

一般開業医における小児期の矯正歯科治療の 注意点と最新の矯正歯科治療



愛知学院大学歯学部 歯科矯正学講座
成人矯正歯科特殊診療科
教授 宮澤 健

近年、矯正歯科治療が広く一般に知られるようになり、子供が主な対象であった矯正歯科治療が成人にまで普及してくるようになりました。ここ数年の当附属病院に来院される18歳以上の矯正患者は、全体の約40%以上を占め、成人における矯正歯科治療の必要性の高まりを表しています。このような状況から、当大学附属病院では、成人矯正歯科診療部が誕生いたしました。

しかし、実際の成人矯正歯科治療の現場においては、患者側は痛みや違和感、装置装着に対し強い反発を訴える一方、治療内容や治療期間、治療結果に対する要求度がきわめて高く、術者側が強いストレスを感じるなど、双方にとって大きなストレスが治療期間を通じて継続することとなります。また、矯正歯科治療を開始する時点で、歯周病に罹患していることがほとんどで、さらに、歯冠修復処置や、歯根管処置が施されていたり、数歯にわたる欠損や補綴処置済みであったりと、矯正治療の目標を大きく下げて治療を行う必要に迫られることも多々経験しています。成人患者が若年期に矯正歯科治療を受けていればこのような治療の必要はなく、成人矯正歯科治療を通して、小児期からの矯正歯科治療の重要性を再認識するに至りました。

そこで今回は、前半では、最新の矯正歯科治療の実際について、後半は一般開業医の先生から私に質問される機会の多い、混合歯列期前期における、「術者・患者双方のストレスフリーをめざした矯正歯科治療法」についてご呈示させていただきます。皆様のご意見を賜れば幸いです。

【経 歴】

- 1988年 愛知学院大学歯学部卒業、同校歯科矯正学講座入局
- 1994年 カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
医学部整形外科 Bone Research Laboratory 留学
- 1996年 愛知学院大学大学院歯学研究科卒業（歯科矯正学）
- 1997年 愛知学院大学歯学部歯科矯正学講座 助手
- 2001年 同 講師
- 2004年 同 助教授
- 2010年 愛知学院大学成人矯正歯科特殊診療科 教授
- 2012-2014年
日本矯正歯科学会 理事、認定医委員会委員長
近畿東海矯正歯科学会 会長
- 2016年 日本矯正歯科学会 理事、医療問題検討委員会委員長
日本矯正歯科学会、認定医、専門医、指導医
現在に至る

【著 書】（分担著書）

- 幼児・学童期からの矯正歯科治療 医歯薬出版（東京）
- 混合歯列期の矯正歯科治療 医歯薬出版（東京）
- 矯正歯科治療 この症例にこの装置 医歯薬出版（東京）
- 矯正装置ビジュアルガイド 医歯薬出版（東京）
- 矯正装置ビジュアルガイド2 医歯薬出版（東京）
- 安心・安全 歯科矯正用アンカースクリューこの症例にこの方法 医歯薬出版（東京）
- 第5版 歯科矯正学 医歯薬出版（東京）
- 第3版 新しい歯科矯正学 末永書店（東京）



患者さんの個別性を重視した問題の解決法 ～計画的な予防製品の応用～

医療法人社団 皓歯会 九州歯科大学歯学部 口腔保健学科
(特別研修員) 溝部 潤子

近年、歯科衛生士の専門的口腔のケアを希望して受診する患者さんが多くなりました。それは、早期発見・治療を目的とするだけでなく、定期的なケアが口腔の状態を安寧に保っているという実質的な経験をしているからでしょう。それゆえ定期受診は経年的になり、歯科衛生士は患者さんのライフステージに同行し寄り添うこととなります。定期受診が長くなればなるほど、患者さんの口腔や全身状態は緩やかに、時として疾患の影響などから急激な変化をします。その対応には口腔状態の観察はもとよりその人の背景の変化に配慮することが重要で、情報収集を整理し活用できるものにする工夫が必要となります。

近年、アメリカ・カナダを中心に歯科衛生士の活動に新しい概念が生まれ実行されています。この概念は、日本では2007年に「歯科衛生ケアプロセス」(下野正基監修 医歯薬出版)で紹介され、著者の一人である佐藤陽子さんが2016年本会で講演をされています。歯科衛生士の養成教育では歯科衛生過程として取り入れられているので、養成時代に学んだ人もあるでしょう。「Dental Hygiene process of Care (歯科衛生ケアプロセス)」は「看護過程」を基盤に生まれました。それは看護師が看護を行うときに看護の観点から必要な情報を整理し分析して実行するという一連のプロセスで、すでに日常化しています。このプロセスでは根幹に「Care」をおいています。「ケアの本質」で、ミルトン・メイヤーは『Care とはその人が成長すること、自己実現することを助けることである』と文頭に記しています。これを口腔保健に映してみると、生活者(患者さんに代表される歯科衛生士が対象とするすべてのひと)が口腔の健康の重要性に気づき、そのために何をなすべきかを知り自ら行動できるように支援すると解釈できます。この概念を用いて、そもそもニーズとは何か、ニーズに対応するために誰が何をいつ行うのかなど、歯科衛生士の観点から問題を解決する方法を提案したいと思います。

次いで、近年のう蝕や歯周病の予防の考え方を軸に、患者さんのセルフケアの質を上げることの重要性を説明し、セルフケアで不可欠な予防製品を選択的に導入する方法などの指導方法について提示したいと思います。

1. 患者さんの個別性に応じるために(歯科衛生士ケアプロセス)
2. 患者さんのセルフケアの効果を上げるために(予防製品の選択と応用)
3. 【事例】ブラッシングの苦手な患者さんへの指導方法

【略 歴】

1980年3月 兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科 卒業
1980年9月～1990年12月 兵庫医科大学 歯科口腔外科 勤務
1991年4月～2007年9月 医療法人社団 皓歯会 勤務
2000年3月 仏教大学通信教育学部文学部 卒業 学士(文学)
2008年4月～2015年3月 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 勤務
2011年3月 大阪大学大学院歯学研究科 総合機能口腔科学 歯学博士取得
2015年4月～ 現在 医療法人社団 皓歯会 勤務

【学会など】

日本歯周病学会 認定歯科衛生士・評議員
日本口腔感染症学会 認定歯科衛生士
厚生労働省 HIV感染者の医療体制に関する研究班 研究協力者
厚生労働省 科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 研究協力者 ほか

【論 文】

- ・ HIV感染陽性者のスケーリング操作中の自損事故対応を検証して 日本歯科衛生学会誌2008
- ・ SPT期間の決定に必要な因子の研究
(1) 同一口腔内の第一大臼歯歯肉溝測定値の相関について 日本歯科衛生学会誌2008
- ・ 後天性血友病患者の歯周治療管理について 日本歯科衛生学会誌2007

【著 書】

- ・ 科学的根拠に基づいた予防歯科 Year Book<2006-2007> クインテッセンス出版 2006
- ・ 器材からみるオーラル・ケア ヒョーロンパブリッシャーズ 2005
- ・ チームアプローチで成功させる実践的歯周治療 医学情報社 2004



超高齢時代の歯科 (有床義歯編)

大分県佐伯市 開業
歯科河原英雄医院 院長
河原 英雄

超高齢時代を迎えた日本では高齢者の総義歯は800万人とも1000万人ともいわれています。

高齢者の生きる喜びを支えるのは「食べること」「語らうこと」以外にないといっているのに、私たち歯科は高齢者が、おいしく食べられる医療を十分提供できていたでしょうか？

保険診療であろうと、そうでなかろうと快適に機能する総義歯を提供することが出来ずに歯科の本当の価値を国民に知ってもらうことは出来ないと思います。

今回は義歯の機能について、愛知県にてご活躍をされています先生方のご協力を得て歯科技工士の先生方と語り合いたいと思います。



【経 歴】

1941年 福岡県生まれ

1967年 九州歯科大学卒業

1968年 福岡市にて開業

2002年 大分県佐伯市に移転、開業 現在に至る

九州大学歯学部臨床教授

台北医科大学歯学部臨床教授

奥羽大学歯学部客員教授

明海大学歯学部非常勤講師

九州歯科大学非常勤講師

日本審美歯科協会会長・日本顎咬合学会会長等 (2001～2003年) 等 歴任

医学博士

【著 書】

箸の文化に適応した、前歯で噛み切れる保険総義歯のススメ (クインテッセンス出版)

歯科開業学 親父の小言に学ぶ (クインテッセンス出版)

ヘルスケアの担い手としての歯科衛生士 (別冊 歯科衛生士)

(共 著)

目で見えるお口の百科 家庭の歯学 (別冊 ザクインテッセンス)

デンタルイマジネーション その技とところの記録 (クインテッセンス出版)

①12:30~13:15 山八歯材工業(株)

WorkNCDental を用いたアルテサーノの事例紹介と今後の展望

山八歯材工業(株) 商品開発部 脇田 剛誌
(株)データ・デザイン ヘルスケアG 瓜生 博伺

- ①保険適用 CAD/CAM 冠用ブロック「アルテサーノ」概要
～各種物性や今後のラインナップ増強についての最新情報～
- ②オープン CAM ソフトウェア「WorkNCDental」概要
～予算・環境・用途などの条件から最適なデジタルプロセスをコーディネート～
- ③「WorkNCDental」×「アルテサーノ」の加工事例
～テンプレートチューニングの事例と今後の展開～
- ④「アルテサーノ」を用いた加工時間短縮への挑戦
～CAD/CAM 冠特化型ミリングバー用事例と各種ディスクの最新情報～

②13:15~14:00 名南歯科貿易(株)

名南デジタルソリューション、及び新発売の矯正用 CAD「オーソアップ」のご紹介

代表取締役 新美 洋平

「歯科領域で現在展開されているデジタルソリューションで、今、何ができるのか。そして何ができるようになるのだろうか。」

今回は名南歯科貿易がデジタルソリューションとして展開しているラインナップの概説を皮切りに、「デンチャー」「矯正」「インプラント」をキーワードにお話をさせて頂く予定です。前半はそれぞれの器械のご紹介。高い精度とテキストスキニングが特徴のスカナ「スマートビッグ」、CAD「ディジステル」/「EXOCAD」の最新機能、高い精度とディスクチェンジが特徴のCAM「エコミル5x チェンジ」、広い積層領域で、かつ複数階層積層が可能な3Dプリンター「フリーフォームプロ2/ピコ2」を手短にご説明します。

後半では、デンチャー CAD ソフト「ディジステル」のメーカー「ディジレア社」が新たに開発した、矯正用 CAD ソフトウェア「オーソアップ」をご紹介します。このソフトを使うことで、矯正における歯列移動プランニングが強力にサポートされます。「ステージ毎に動かす歯・動かさない歯を決める」「ステージ毎に動かせる距離をきめる」など細かい条件設定が可能なので、自由度の高い矯正プランニングが可能となります。さらに3Dプリンターと組み合わせて、各ステージの模型を出力してスプリントを製作するなど、スプリント矯正領域に新しいソリューションをご提案します。

③14:00~14:45 (有)ニューテック

バイオフィーム除去のための光殺菌治療

樋渡歯科医院 院長 樋渡 盛晃 (日本歯科医師会会員)

光殺菌治療を導入すれば、これまでよりはるかに効果的にバイオフィームを除去できる。今回報告発表するのは、半導体レーザー(810nm)の波長に反応する光増感剤 ICG (インフラシアニンググリーン) を利用した光殺菌治療法である。従来の歯周治療法では、物理的な力によるもの(ブラッシングや PMTC 等も含め機械的にこすり落とす方法)が一般的であるが、バイオフィームを効果的に除去出来るとは言い難い。又、抗菌剤等による薬物療法では、常在菌までも除去してしまう上に、耐性菌のリスクが懸念される。これに対して光殺菌治療では、歯肉に ICG を主成分とした液状の光増感剤である EmunDo (エムド:ラテン語で除菌するという意味)を滴下して、低出力のレーザーを約1分間照射すれば、バイオフィームを除去できる。EmunDo は、バイオフィームの負電荷に合わせた陽電荷を持っているので、細菌叢を選択的に除去することができるのもメリットの一つである。歯周組織検査法の PPD では90日後の改善率が、従来の歯周治療法では2.37%であったものが、レーザー治療では47.23%、光殺菌治療では68.16%になり、劇的な効果が得られている(出典:愛知学院大学歯学部歯周病学講座)。講師樋渡は、ドイツへ行き開発者の歯科医師 Dr.Holland から直接、治療法及び技術指導を受け自医院において良好な経過を得られているので報告する。

④14:45~15:30 (株)モリタ

これからの治療ニーズに対応する、最新の接着修復システム

クラレノリタケデンタル(株) 安澤 彰紹

本講演では2016年11月21日に発売した1ステップ型ボンディング材「クリアフィル ユニバーサルボンド Quick」(以下「本品」)について紹介する。本品は、接着レジン修復治療における近年の多様なニーズに応えるべく、1)高い接着力(2ステップ型のクリアフィル メガボンドに近似した象牙質接着)、2)チェアタイム短縮(塗布後の待ち時間なし、光照射3秒※1)、3)ユニバーサルユース(光重合型 CR 充填修復、支台築造、セメント接着等)を、それぞれ高いレベルでのバランスを実現した新製品である。当社が独自に培ってきた、接着性モノマー「MDP」の製造・応用技術をベースに、本品の鍵となる新技術として、新規の高親水性・高重合性モノマー、および高活性の光重合触媒を導入することによって、操作性と物性の両面から、接着レジン修復治療の主役としてお奨めできる製品を目指して開発した。

本講演の機会を通じて、歯科医療関係者の皆様よりご質問の多い、様々な臨床用途での術式の説明を軸に、本品と併用する関連材料とともに、使用上のポイントを交えて紹介したい。特に、短い操作時間を活用したコンポジット充填症例、少ない使用材料数と短時間処置によるシンプルなレジン/ファイバーポストによる支台築造、CAD/CAM 冠の高い接着維持を目指したセメント接着技法などについて、本品の特長をよく反映させた応用例として解説する。

⑤15:30~16:15 (株)ジーシー

院内完結型 CAD/CAM システム「PLANMECA FIT」のご紹介

(株)ジーシー 営業部 企画・販促課 多田 仁美

この度、ジーシーでは院内完結型 CAD / CAM システム「PLANMECA FIT」を発売することとなりました。

PLANMECA FIT は高速口腔内計測から設計、高精度加工まで全てのワークフローを院内で対応できる院内完結型 CAD / CAM システムです。

特長としましては、

1. PLANMECA FIT は計測から設計・加工まで全てのワークフローを院内で行えるメリットを患者さんへご提案頂けます。診療コンセプト、診療スタイルに合わせて、技工所連携型の Aadva システムか院内完結型の PLANMECA FIT か選択頂けるようになりました。
 2. 高速リアルタイムスキャンによりデータの取得は PLAN SCAN で口腔内よりスキャンできます。高速スキャンで患者さんへの負担を減らします。また、先端チップは滅菌が可能ですので、衛生的にお使い頂けます。
 3. 設計は附属 PC にインストールされた PLAN CAD EASY によりクラウン、インレー、ベニア、ブリッジの設計が容易に軽い操作で行え、最短5ステップで加工に移行ができます。
 4. 加工は PlanMill40 による 2つの高速スピンドルと同時 4軸加工により短時間かつ正確にセラミックブロック、レジンブロックを加工します。しっかりとした筐体が軸ブレを抑え高精度な加工を実現します。
- 以上につきまして、詳しくご紹介をさせていただきます。

⑥16:15~17:00 (株)クラーク

高齢化の現代、歯磨きの仕方を変える時期が来た！

クルン(株) 商品企画開発部長 中島 憲二

高齢化が進み、平均寿命が延びるにつれ社会保障費もうなぎ上りとなっています。歯垢が原因と言われる歯周病と全身の疾患との関連性が研究により指摘されている中、歯の磨き方はフォーンズ法、ローリング法からスクラッピング法、バス法が主流となっています。

つまり「擦らない」磨き方を指導されているのですが、頭の隅には擦って磨くことが常識との考えが残っています。如何に歯垢を取るかを考える必要がある中、従来の擦る平植歯ブラシで磨く事からの思考では現状の改善は見られません。歯を中心に磨くことを主に考えて開発されてきた歯ブラシでは、毛が硬すぎ、本数が少な過ぎるのです。歯垢が溜まり易い歯頸部を磨く上で、擦ると歯茎を傷つけてしまうので、スクラッピング法による指導が行われています。この磨き方だと1本1本丁寧に歯茎に当たらない様に磨くため大変な時間が必要となります(30分~40分)。歯と歯茎を同時に転がすブラシがあれば、「効率的に歯垢が除去できる」と考え開発されたのが歯周ケアロールブラシです。スクラッピング法同様、歯茎に対して常時90度に当る様にするために回転形状になっています。また歯と歯茎を同時に磨けるように0.076mmと言う超極細毛(一般的な歯ブラシの約1/3)を使用し、17,600本を高密度植毛しています。これらにより痛くない、簡単に短時間に歯垢を取るブラシを実現致しました。そのブラシを紹介させていただきます。

⑦17:00~17:45 デンツプライ三金(株)

知って得する臨床の勘所 ~歯内療法から修復法まで。最新の治療法 RESTODONTICS の勘所~

ぱんだ歯科 院長 須崎 明

歯を長期に保存するために MI コンセプトを実践するのは言うまでもありません。特に失活歯の場合、抜歯の原因として最も多いのが、歯の破折ではないでしょうか。それらの対策として歯内療法での「根管拡大、根管充填法に対する配慮」支台築造での「ファイバーポストを併用したレジン支台築造やフェルール効果への配慮」歯冠修復での「歯冠修復法や支台歯形成への配慮」が重要ではないでしょうか。その様な流れの中で、近年、RESTODONTICS という言葉が注目されています。すなわち、先に述べた各領域での配慮はもろること、修復処置(Restorative)と歯内療法(Endodontic)の難易度のバランスを考えて処置することで、その歯の長期予後の安定につながるという考え方です。

そこで今回は臨床例を中心に RESTODONTICS の勘所について考察していきます。

本講演が先生方の明日からの日常臨床の一助となれば幸いです。

⑧17:45~18:30 カボデンタルシステムズジャパン(株)

若手 Dr. のための臨床講座 ~患者本位の補綴治療を目指して~

補綴臨床総合研究所 中村 健太郎

デジタル技術の発展や接着セメントの進歩、再生医療技術の進化は目覚ましく、クラウンブリッジ補綴学では CAD/CAM 技術を応用したメタルフリーの歯冠補綴装置の実用化や接着技術適用の有用性の見直し、口腔インプラント技術の革新と安定化を進言しています。近年の補綴治療における不文律は色と形態の再現であり、白く綺麗な歯とピンク色の歯肉を仕上げたら治療が完遂とする時代です。そのため補綴新技術のほとんどが審美的要件のみに適応されていると言っても過言ではありません。

超高齢社会のいま、健康寿命を延ばすには健常に過ごせるだけの健全な身体づくりが本質とされています。美味しい食生活が健全な身体をつくり、その身体を維持することができます。咀嚼を回復させる補綴治療は食生活にとって大きなサポートであり、咀嚼できる口腔内環境を維持していくことで健康寿命を延ばすことができる医療なのです。クラウンブリッジ補綴学に、補綴治療は患者本位の医療として顎口腔系の健康の維持・増進に寄与しなければならないと記されています。患者さんは美味しい食生活を営み、健常であるからこそ審美修復にリクエストを求めているのではないのでしょうか。

審美修復も心情的には大切な治療ですが、患者さんの身体の健康に影響を及ぼす咀嚼機能の回復、維持を目的とした補綴治療こそが最優先されるべきであり、これが患者本位の補綴治療ではないのでしょうか。若手の先生方に聴講して頂ければ幸いです。

①10:00~10:45 ライオン歯科材(株)

患者さんがついてくる！ブラッシングスキルにあわせたTBIの道のり

フリーランス歯科衛生士 沢口 由美子

いつの時代にもTBIは歯科衛生士の重要課題です。指導に悩むことも多いようですが、導き方・伝え方次第でTBIの成果が変わります。

目の前の患者さんにとって今必要なブラッシングスキルは何か？モチベーションを高く維持して磨くを実行して頂き続けることにつなげる指導のヒントはそんなに難しくありません。

患者さんの今必要なことを理解して、どう磨いて頂くか、段階別TBIの実践法をご紹介します。

②10:45~11:30 (株)松風

リステリンの最新エビデンスのご紹介

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) コンシューマーカンパニー プロフェッショナルマーケティング 薬剤師 井出 明美

世界初の洗口液として135年以上の歴史をもつリステリンは、現在では世界50ヶ国以上で発売され、世界No.1の売り上げとなっています。

化学的プラークコントロールとして使用する洗口液は、口腔全体に棲息する細菌に対する殺菌力に加え、30秒程度の短い洗口時間の中で、どれだけバイオフィルムの膜に浸透・拡散できるかが重要なポイントになります。

抗菌薬ですらなかなか浸透殺菌できないといわれているその「バイオフィルム」に対して、リステリンは独自の「4種類のエッセンシャルオイル」の働きで、短時間のうちにバイオフィルムに浸透し殺菌することができます。

従来は、エッセンシャルオイルをアルコールで溶解して製剤化していたため、口腔乾燥症や放射線治療者、アルコール禁忌の方、粘膜の弱い幼児やご老人への洗口にはご使用を控えていただく傾向がありました。アルコールの代わりに可溶化剤を使用した製剤技術が開発され、低刺激のノンアルコールタイプ、リステリン(ナチュラルケア)が数年前に発売されました。

本講演では、米国で最も歯科医療従事者の推奨率が高い洗口液として支持されているリステリンの最新エビデンスをご紹介しますとともに、昨年(2016年)末に歯科ルートから新発売されたトータルケアの特長と安全性、ノンアルコールリステリンの効果についてお話させていただきます。

③11:30~12:15 日立メディカルコンピュータ(株)

「食支援」が何故今注目され、それを最大限に運用する最新手法とは？

高齢者人口率約30%に突入する2025年問題。

対策無く従来の診療を続けていると統計予測上、現在の医院業績の半分にまで減少するデータも出ています。

国の施策は、「か強診」や「新オレンジプラン」など次々に動き出しており、その施策の真意を掴んだ上で、時代の大きな流れに歯科医院経営も適応する必要があります。

今回、その施策の入口となる“食支援”の最新事例について、訪問歯科診療激戦区の都内でも“食支援”案件の依頼が殺到する「医療法人社団明法会 高山歯科医院」、歯科医院経営コンサルタントでも業界トップの「株式会社船井総合研究所」、そして「日立メディカルコンピュータ株式会社」が組み、その運用手法までを余すことなく公開いたします。

■時流講座 2025年問題を見据え、歯科医院経営はどう舵をとるべきか

(株)船井総合研究所 医療・介護・福祉・教育支援本部

歯科医院経営コンサルティングチーム 主任/経営コンサルタント 矢田 琢朗

・2025年問題を見据えた今後の歯科医院経営動向予測

・四方良しの“食支援”ビジネスモデル etc.

■事例講座 “食支援”現場での問題点、そして今後求められる医療介護連携の形とは

医療法人社団明法会 高山歯科医院 理事長 高山 史年

・経口維持加算の正しい算定ができていますか？

・“食支援”における最大のポイントは？運用の最新事例公開 etc.

④12:15~13:00 クロスフィールド(株)

小さな努力で大きな治療成果！ -コストパフォーマンスに優れたクラウン除去法-

ばんだ歯科院長 須崎 明/WAM社 社長 アレクサンダー・ミュラー

歯科医療白書によると現在の歯科医療は、診療行為の種類と回数に応じた医療サービスの対価が医療機関に支払われる「出来高払い制度」となっているといわれています。本制度は医療機関にコストを削減するインセンティブが働きにくく、過剰診療・過剰投薬になりやすいため、医療費を抑制するために今後はあらかじめ疾病ごと、あるいは治療1単位ごとに一定額の支払いとする「包括払い制度」に移行すると思われます。すなわち早く疾患を治癒させることができる医療機関ほど経営が安定することになります。

そのような流れの中で再治療においてテンポラリークラウンの重要性は認識されているものの、限られた条件の保険診療の中で、全ての症例で実践するのは困難です。そこで本講演ではワムキークラウンリムーバーを用いる小さな努力で得た大きな治療成果についてご紹介致します。

愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)」更新用単位取得コーナー
- 「地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー
- 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー 「地域保健部Ⅲ」コーナー
- 「防災対策部」コーナー 「唾液検査」コーナー 「口腔内カメラ」コーナー
- 「AED実習講習会」 「訪問診療講演会」

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」 「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優秀作品展示」
- 「ADTAトレーニングセンター受講生作品展示」
- 「技工士会員によるデモンストレーションモデル展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

- (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「第11回会員ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 12:30 ①山八歯材工業(株)「WorkNCDental を用いたアルテサーノの事例紹介と今後の展望」
- 13:15 ②名南歯科貿易(株)「名南デジタルソリューション、及び新発売の矯正用CAD『オーソアップ』のご紹介」
- 14:00 ③(有)ニューテック「バイオフィilm除去のための光殺菌治療」
- 14:45 ④(株)モリタ「これからの治療ニーズに対応する、最新の接着修復システム」
- 15:30 ⑤(株)ジーシー「院内完結型CAD/CAMシステム『PLANMECA FIT』のご紹介」
- 16:15 ⑥(株)クラーク「高齢化の現代、歯磨きの仕方を変える時期が来た！」
- 17:00 ⑦デンツプライ三金(株)「知って得する臨床の勘所～歯内療法から修復法まで。最新の治療法RESTODONTICSの勘所～」
- 17:45 ⑧カボデンタルシステムズジャパン(株)「若手Dr.のための臨床講座 患者本位の補綴治療を目指して」

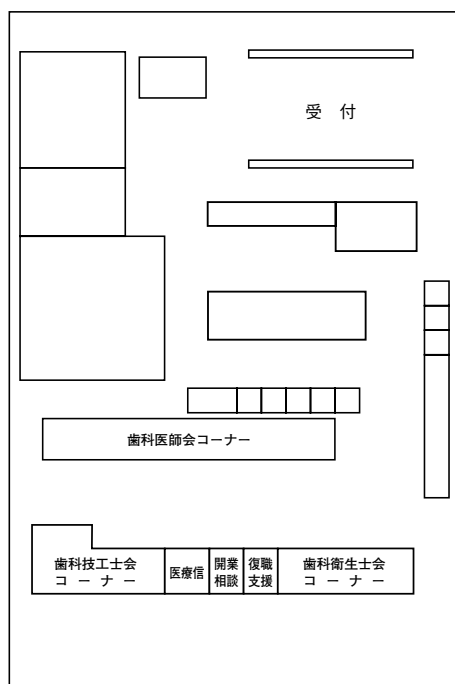
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

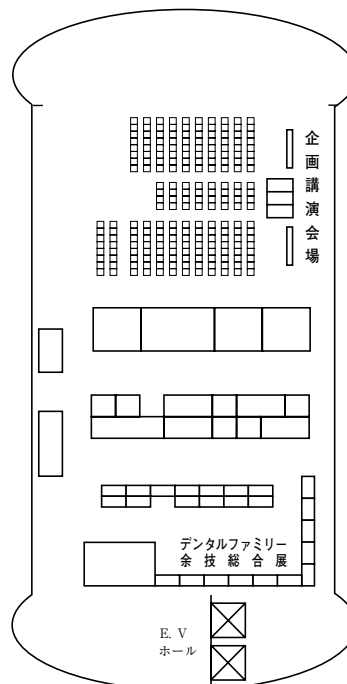
- ①クインテッセンス出版(株) ②(株)デンタルダイヤモンド社 ③(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ④医歯薬出版(株) ⑤(一財)口腔保健協会 ⑥わかば出版(株) ⑦(有)医学情報社
- ⑧(株)永末書店 ⑨(株)日本歯科新聞社 ⑩東京臨床出版(株)

配 置 図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)」更新用単位取得コーナー
- 「地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー
- 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー 「地域保健部Ⅲ」コーナー
- 「防災対策部」コーナー 「唾液検査」コーナー 「口腔内カメラ」コーナー
- 「歯科衛生士復職支援」コーナー 「AED実習講習会」 「訪問診療講演会」

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」 「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優秀作品展示」
- 「ADTAトレーニングセンター受講生作品展示」
- 「技工士会員によるデモンストラレーションモデル展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

- (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「第11回会員ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00 ①ライオン歯科材(株)「患者さんがついてくる！ブラッシングスキルにあわせたTBIの道のり」
- 10:45 ②(株)松風「リステリンの最新エビデンスのご紹介」
- 11:30 ③日立メディカルコンピュータ(株)「『食支援』が何故今注目され、それを最大限に運用する最新手法とは？」
- 12:15 ④クロスフィールド(株)「小さな努力で大きな治療成果！～コストパフォーマンスに優れたクラウン除去法～」

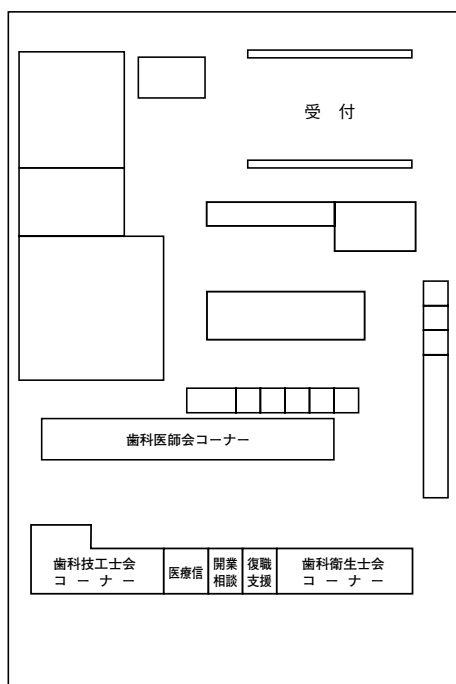
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

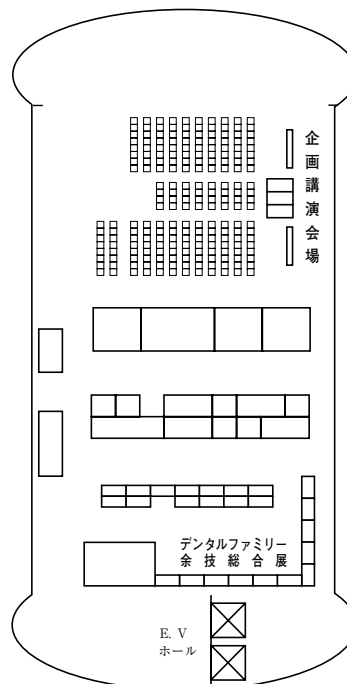
- ①クインテッセンス出版(株) ②(株)デンタルダイヤモンド社 ③(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ④医歯薬出版(株) ⑤(一財)口腔保健協会 ⑥わかば出版(株) ⑦(有)医学情報社
- ⑧(株)永末書店 ⑨(株)日本歯科新聞社 ⑩東京臨床出版(株)

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（臨床スポーツ歯科医）」 更新用単位取得コーナー

平成27年度より「マウスガード認定登録歯科医」から「臨床スポーツ歯科医」と変更となりました。

旧「マウスガード認定登録歯科医」及び「暫定のマウスガード認定登録歯科医」の先生方は下記の方法により「臨床スポーツ歯科医」として再登録できます。

I. 旧マウスガード認定登録歯科医の先生方

認定講習会の座学を平成27～30年度までの4年間に1回受講すること
※未受講の場合は登録を抹消致しますので、ご注意ください

II. 旧暫定のマウスガード認定登録歯科医の先生方

(平成25～26年度に更新をされなかった先生)

平成27年～28年度までの2年間の間に以下の①と②を行う

- ①認定講習会の座学を1回受講すること
- ②歯科医学大会においてDVD研修を受講する

またはマウスガード制作実績報告【3症例】提出する

※未更新の場合は登録を抹消致しますので、ご注意ください。

今後、臨床スポーツ歯科医が認定登録を更新するために、平成31年度より4年間に下記①～④の中から20単位以上取得し申請をすることにより更新していく制度となり、本日は②「歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修5単位」を実施いたします。

本会が企画いたしますビデオ・DVD研修は歯科医学大会のみでございますので、認定登録歯科医の方は是非お立寄り下さい。

- ① 愛知県歯科医師会主催の臨床スポーツ歯科医講習会(座学)の受講
10単位(受講義務なし)
- ② 歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修
5単位(2回を上限とする)
- ③ マウスガード製作実績報告書の提出
5単位(2ケースを上限とする)
- ④ 愛知県歯科医師会が認める歯科医師会主催以外の関連研修会・講習会への参加
5単位(2回を上限とする)

「地域保健部 I (母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー

<0歳児からの口腔育成>

身体とともに口腔の成長変化が大きな0歳児の口腔を育成するには、歯が萌出する前から歯科医師が関わるのが重要とされるようになってきました。今回0歳児からの口腔育成の取り組み方について紹介します。

<学校歯科保健「歯科健康診査基準の標準化に向けて」>

学校歯科保健は「保健教育」「保健管理」を適切に行うことにより児童生徒、職員の健康保持増進に努めることが大きな目的です。しかしその実現には家庭や地域の連携を緊密にする「組織活動」の充実が不可欠です。そのためには学校における歯科健康診査における検査基準の標準化を図り、地域のかかりつけ歯科医との連携を円滑に行うことも重要な課題です。そこで、「C、CO、G、GO」「不正咬合、不正歯列」等の検出基準についての統一を図るための展示をおこないますので、ご来場いただければ幸いです。

<若い世代からの口腔ケア推進事業>

歯周病は成人期に増加するため若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要です。このため愛知県歯科医師会では愛知県からの委託事業として大学生の口腔状況を把握すると共に生活習慣調査を行い、今後の歯科施策の基礎資料を得るための事業を開始しています。

「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー

わが国における骨粗しょう症患者は約1,300万人と推定されています。骨粗しょう症の80%は女性であり、50歳以降は閉経後骨粗しょう症が急増しますが、大部分の方が無自覚のまま、骨折の危険のある状態で生活しているといわれています。

近年、歯科で撮影されるパノラマX線写真は、特に50歳以降の女性における骨粗しょう症性骨折の危険を知る手段として有用であることが判ってきました。

愛知県内にある協力歯科医院でおこなっている「パノラマX線写真による骨粗しょう症のスクリーニング」は、骨粗しょう症による骨折を未然に防ぐためのもので、健康寿命の延伸にも役立つものです。

現在、協力歯科医院は約1,614あり、整形外科、内科、婦人科、外科等の協力医療機関（約1,120）との間で医療連携が実施されています。

また、顎骨壊死検討委員会により4年ぶりに示された「顎骨壊死ポジションペーパー2016」の内容についても紹介させていただきます。

「地域保健部Ⅲ」コーナー

「愛知県における介護保険施設入所者の口腔・栄養管理の推進に向けた検討」

平成27年より介護保険施設入所者の口腔・栄養管理に関し協力歯科医療機関の位置づけが見直され、歯科を含めた多職種での取組が評価されました。そこで、多職種連携の構築および事業の指針を得ることを目的として、愛知県歯科医師会会員のうち介護保険施設の協力歯科医師331名を対象に郵送法による自記式質問票調査を行いました。

結果の分析から、多職種連携の促進要因および施設の口腔関連加算算定の促進要因、事業要望について詳細を報告します。今後、経口維持に関連した口腔機能や食事評価が実施できる歯科医師、歯科衛生士の養成が望まれます。

「障がい者歯科認定協力医研修会」研修修了者の障がい患者受け入れ状況について

愛知県歯科医師会は平成18年度に県行政から「愛知県障害者歯科医療ネットワーク推進事業」の委託を受け、その事業の一環として障がい者歯科医療に習熟した歯科医師を養成し、障がい者歯科医療の普及、啓発を図る目的で「障害者歯科認定協力医研修事業」を展開しています。今回、研修修了者を対象に研修後の各医院における障がい患者の受け入れ状況について調査しました。

「防災対策部」コーナー

「大規模災害への対応」

平成28年4月の「熊本地震」では2度にわたる震度7に加え、余震が数多く発生するという大災害でした。地震後は多数の住民が避難所生活を強いられ、口腔ケア不足による誤嚥性肺炎のリスクを懸念しておりましたが、これまでの震災等の教訓により災害直後からの「口腔ケア活動」がおこなわれた結果、これらの災害関連死を防ぐことができました。

防災対策部では南海トラフ沖巨大地震や風水害等を想定し、地域保健部、歯科衛生士会、歯科技工士会、東海歯科用品商協同組合等の協力を得て愛知県総合防災訓練等での口腔ケアや緊急歯科診療の訓練を実施しております。

また、愛知県歯科医師会では「診療所の減災行動」を掲げ、事前の準備をしていただくよう「地震防災ガイド」を発行しています。

愛知県警察歯科医会では身元確認時にデンタルチャート等が迷わずに記載できるよう「身元確認捜査協力ガイド」を新たに作製し各警察署に配備いたします。併せてご覧ください。

「唾液検査」コーナー

共催：ライオン(株)

唾液による総合的な口腔検査法のチェアサイドへの応用 — 多項目唾液検査システム (Salivary Multi Test) —

近年、口腔疾患の早期発見・早期治療だけでなく、積極的な予防が重要と考えられ、定期検診やメンテナンスを中心とした情報提供・患者管理型歯科医療への転換が求められています。

一方、簡便かつ非侵襲的に採取可能な唾液は、様々な疾患の検査試料として注目されており、歯科医師による口腔内検査に、唾液検査の客観性を加えることで、患者の理解向上、リスク予見が可能となります。

ライオン(株)では、唾液による総合的な口腔検査法のチェアサイドへの応用を目指し、歯の健康、歯ぐきの健康、口腔清潔度に関する6項目の唾液因子を5分間で測定できる多項目唾液検査システム Salivary Multi Test (SMT) を開発しました。

SMT の検査結果を患者とのコミュニケーションツールとして提供することで、インフォームドコンセントの確立、口腔衛生へのモチベーション向上に繋がり、集団健診でのスクリーニング検査として応用することで、予防管理や定期検診の推進および国民のオーラルヘルスプロモーションに貢献できると考えます。

本ブースでは、SMT の展示および有用性に関するエビデンスをご覧くださいと共、実際に SMT による唾液検査をご体感いただけます。

「口腔内カメラ」コーナー

共催：(有)サンフォート

写真道場へようこそ！ 口腔内写真を撮ってみませんか！（入門編）

内容は、12枚撮影法を「1人で撮る口腔内規格写真撮影法」です。（参加者のご希望により5枚撮影法もお受けいたします。）

身近で、手軽に利用されるようになったデジタル口腔内写真撮影。しかし、出来上がった写真を見るたびに思いのほか、良い結果でないことに「がっかり」された経験はありませんか？ 機材の発展は実感するものの「撮影技術」が追いつかない現実があるようです。

また、保険の改正、各学会に於ける認定試験制度などでは口腔内写真が撮れることが必須条件となっております。良い仕事をしていながら伝える手段で損をしていませんか？

質のよい口腔内写真は、創り出すもので、偶然にして撮れるものではありません。特に「ミラーテクニック」を多用する12枚撮影法は、独学で理解できるものではないように思います。

山形県酒田市開業 熊谷崇先生と共著の「新口腔内写真の撮り方 / 医歯薬出版」の内容に基づいた、実技解説をさせていただきます。

また、最新の口腔内写真撮影用デジタル関連製品の展示も行っております。

見学を含め、大勢の方々のご来場を心からお待ち申し上げます。

※講演・実習は第1ファッショ展示場の講演会場にて行います。

18日（土）16：00～17：30

19日（日）10：10～11：40 13：20～14：50 の3回を予定

実習参加は1回につき1医院（2名組）のみとなります。

詳細・申し込みは愛歯月報「1月号」をご覧ください。応募多数の場合は抽選となります。

なお、講演受講・実習見学は自由ですので、当日ご来場いただければ結構です。

AED実習講習会

AED(自動体外式除細動器)の「耐用期間」および適切な管理のご提案

(株)ヤガミ 山中 伸

AEDの非医療従事者による使用が認められてから10年以上経ち、公共施設を始め様々な所で目にするようになりました。国内設置台数はすでに40万台を超えているといわれています。歯科医院様におきましても、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準に、緊急時の初期対応に必要な医療機器としてAEDが加えられたことから、多くの医院様で整備されていることと思います。

AEDは急速に普及した一方で、消耗品の有効期限がきちんと管理されていないなどの問題が指摘されており、適切な管理の必要性が訴えられています。また、近年では「耐用期間」についての周知徹底が求められています。

AEDには医療機器として、機能及び性能を維持し、使用することができる標準的な使用期限として耐用期間が設定されています。その期間は製造販売会社、機種により異なりますが、6年から8年ですので、早い段階で整備されたAEDの中には、既に耐用期間を過ぎているものがあると懸念されます。

本セミナーでは、AED各機種の耐用期間の設定および、フィジオコントロール社の新しいAED「サマリタンPAD 350P」を例として、その確認方法をご説明いたします。

サマリタンPAD 350Pは、国内で販売されているものの中で耐用期間が最長の8年間となっており、また、メーカー保証も同じく8年間受けることができるので、安心して使用していただくことができるAEDです。併せて、煩雑な消耗品の有効期限管理に気を使わなくてよくなるサービスについてもご紹介いたします。

【医療機器「耐用期間」の定義】

医療機器が適正な使用環境と維持管理の基に、適切な取り扱いで本来の用途に使用された場合、その医療機器が設計仕様書に記された機能及び性能を維持し、使用することができる標準的な使用期限を医療機器の「耐用期間」と定義する。

訪問診療講演会

歯科訪問診療の保険請求の基礎知識

日本訪問歯科協会 広報担当理事 前田 実男

超高齢社会となった我が国では、歯科においても在宅医療が欠かせなくなりました。

歯科治療の需要は、歯の形態の回復を中心とした「健常者型」から、口腔機能の回復を目的とした「高齢者型」に変化しています。平成28年度の診療報酬改定でも、在宅歯科医療は高く評価されるようになりました。

しかしながら、歯科医院が訪問診療を始めようとするとき、保険の請求方法がわからないということが一つのネックになっています。

「訪問診療の保険請求は複雑でわかりにくい」「介護保険の請求がわからない」「提供文書はどのタイミングで、何を書いたものを渡せばいいのかがわからない」などなど、訪問診療に携わっている医院の悩みの一つが医療事務です。特に介護保険の算定が発生するなど外来では算定しない項目が難解だと思われるようです。

この講演では、訪問歯科に特化した医療保険、介護保険の請求のポイントを解説します。

1. 診療報酬改定のポイント
2. 訪問診療の保険請求の基本のキホン
3. 医療保険の保険請求
 - 1) 歯科訪問診療料とその加算
 - 2) 訪問歯科衛生指導料
 - 3) 歯科疾患在宅療養管理料とその加算
 - 4) 在宅患者歯科治療総合医療管理料
 - 5) 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料
 - 6) 摂食機能療法
4. 施設基準と届出
5. 併算定ができない点数、注意が必要な介護保険との算定調整
6. 介護事業所の算定する口腔関連の報酬と歯科医院の協力方法
7. 介護保険の請求の基礎知識

「歯科衛生士復職支援」コーナー

<歯科衛生士再就業支援事業について>

愛知県内では慢性的に歯科衛生士が不足しており、愛知県歯科医師会では平成23年より愛知県の委託を受け、歯科衛生士の再就業を支援するための「カムバック研修会」「歯科診療所の臨床見学」「歯科衛生士バンク登録」等の様々な事業を行っています。

<愛知県歯科衛生士バンクについて>

平成28年10月、新たに愛知県歯科医師会のホームページに「愛知県歯科衛生士バンク」登録サイト (http://www.aishi.or.jp/kyujin/prog/index_adha.php) を立ち上げ、このサイトに登録いただいた方には、研修会や復職支援のご案内等を行なうことができるようになりました。本サイトでは、歯科衛生士の資格を持った方なら誰でも無料で登録でき、愛知県歯科医師会が主催する歯科衛生士関連の有益な情報を定期的にメールで受信できます。(ご登録にQRコードもご利用下さい)



<当日のご案内>

当日ご来場いただいた方は、その場で「愛知県歯科衛生士バンク」にご登録いただけます。また、他の再就業支援事業についてのご案内や復職相談も行っていますので、歯科衛生士の皆様の多数のご来場を心よりお待ちしております。

AED実習講習会・訪問診療講演会・口腔内撮影実習

(於：本館棟2F 第1ファッション展示場内 特設会場)

| 日 | 時間 | 企業名 | 内容 |
|----------|-------------|---------------|----------|
| 2月18日(土) | 13:30~14:10 | (株)日本歯科商社 | AED実習講習会 |
| | 14:10~15:10 | 日本アイ・エス・ケイ(株) | 訪問診療講演会 |
| | 15:10~15:50 | (株)日本歯科商社 | AED実習講習会 |
| | 16:00~17:30 | (有)サンフォート | 口腔内撮影実習 |
| 2月19日(日) | 9:30~10:10 | (株)日本歯科商社 | AED実習講習会 |
| | 10:10~11:40 | (有)サンフォート | 口腔内撮影実習 |
| | 11:40~12:40 | 日本アイ・エス・ケイ(株) | 訪問診療講演会 |
| | 12:40~13:20 | (株)日本歯科商社 | AED実習講習会 |
| | 13:20~14:50 | (有)サンフォート | 口腔内撮影実習 |
| | 14:50~15:50 | 日本アイ・エス・ケイ(株) | 訪問診療講演会 |

(公社)愛知県歯科衛生士会学術大会
「第11回 会員ポスター発表」

本会は、歯科衛生士の資質向上を目的に研修事業や情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、会員の研鑽の場として、また、歯科衛生士業務の多様化に伴う社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指すべく、各々が取り組みを発表いたします。個々が目標を立て、未来を見つめる有意義な場となるよう多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

記

- 発表 平成29年2月19日（日）10：30～11：50
ポスター掲示は歯科医学大会期間中となります。
- 会場 第1ファッション展示場ワークショップコーナー
- 発表者および演題（共同演者につきましてはポスターを参照ください）
 1. 「重症心身障害児(者)の特性に配慮した歯科衛生ケアプロセスを用いた口腔ケアの試み」
田中 恵
 2. 「“コップ遊び” という名のモデリング法の効果は？」
上出 清恵
 3. 「回復期病院の口腔ケアシステムに対する新たな介入」
山口ひさ子
 4. 「熊本地震で被災したフレイル高齢者への多職種による包括的食支援の一例」
後藤 百合
 5. 「災害時における口腔ケア支援活動の体制整備に向けて」
小栗智江子
 6. 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第11期生 症例発表」
松木 里沙
 7. 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第11期生 症例発表」
木下絵里加

●要旨

1. 「重症心身障害児(者)の特性に配慮した歯科衛生ケアプロセスを用いた口腔ケアの試み」

○田中 恵 (愛知県心身障害者コロニー中央病院 歯科)

重症心身障害児(以下重症児とする)に対し歯科衛生ケアプロセスを用いて、口腔ケアを行った。その際のアセスメントは、既存の項目のみでは十分とは言い難い。重症児に対応した情報収集をもれなく行うため、障害の状態や介助ケアの必要性など、その特性に配慮した項目を追加したアセスメント表を作成し、分析を試みたので報告する。

2. 「コップ遊び」という名のモデリング法の効果は？」

○上出 清恵 (愛知県三河青い鳥医療療育センター)

障害児・者の歯科治療現場では、ブラッシングや歯科治療に対し、強い拒否行動がみられる場面が多くある。その原因はコミュニケーション障害や接触過敏等の障害児・者の特性や歯科スタッフ側の知識、経験、理解不足による治療後の嫌悪記憶と考えられる事が多い。そこで今回、我々は「コップ遊び」と名付けたモデリング法を用いたトレーニングで嫌悪記憶を楽しい認識にする試みを行ったので報告する。

3. 「回復期病院の口腔ケアシステムに対する新たな介入」

○山口 ひさ子 (おざわ歯科クリニック)

当院では15年前よりS病院に訪問歯科診療で介入している。近年、肺炎予防や口腔機能の改善・維持を目的とした口腔ケアに関心が高まってきており、我々が病院職員に対して、口腔ケアについてアドバイスする機会が増えてきた。今回、職員の口腔ケアに対する意識を調査し、S病院の口腔ケアシステムに対する新たな介入をするために、多職種連携と技術の統一を目的とした口腔ケアワーキンググループを設立したので報告する。

4. 「熊本地震で被災したフレイル高齢者への多職種による包括的食支援の一例」

○後藤 百合 (熊本地震摂食サポートチーム, NPO法人口から食べる幸せを守る会)

熊本地震では多くの地域住民が避難生活を強いられた。発災直後に多職種で構成する「熊本地震摂食サポートチーム」を発足し、活動の中でフレイル高齢者へ多職種と連携し、包括的食支援を行った。発災7日目に避難所の床に毛布を敷いて直寝し、声かけに応答や開眼がほとんどなかった高齢者への支援を報告する。

5. 「災害時における口腔ケア支援活動の体制整備に向けて」

○小栗 智江子（愛知県歯科衛生士会 災害対策委員）

大規模災害時においては、誤嚥性肺炎による震災関連死の防止に加え避難者の生活機能の改善のため専門職として歯科衛生士の果たす役割は大きい。本会では、平時の備えとして大規模災害を想定した連絡訓練の実施、県行政との共催による研修会開催を始め、会員の危機意識向上と関係団体との連携に努めている。さらなる体制整備に向けて課題及び今後の取組について報告する。

* 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第11期生 症例発表」

これは、障がい者や高齢者など特別な支援が必要な方に対し、高い口腔保健支援ができる歯科衛生士を育成するための愛知県歯科衛生士会主催研修である（詳細は、愛知県歯科衛生士会ホームページ参照）。今年度は「ベーシック・Bコース（有病者・在宅コース）」受講生より課題報告をする。以下は本研修受講動機である。

6. 松木 里沙

本研修では、他職種連携や在宅療養、摂食嚥下機能評価・訓練、リスク評価等における歯科衛生士の役割について学ぶことを目的としている。

幅広い視点から患者支援を考える他職種連携や地域連携を経験し、それに関わる一員として、専門的なアプローチ方法や質の高い支援を行えるようになりたいと考えている。

7. 木下 絵里加

急性期病院で働く歯科衛生士として、患者の転院先となる他病院との連携を強化する必要があると考え、近隣病院での歯科衛生士の活動を知ることが目的に本研修会へ参加した。また、急性期病院で働く歯科衛生士の役割を認識し、他職種と連携方法および、緩和ケアを学ぶことに重点に置きたい。

18日(土) 午後2時

私の考えるセラミッククラウンの製作要点

ADTAトレーニングセンター 1期卒クボタ Lab. 久保田 紘基

一般社団法人愛知県歯科技工士会が主催される ADTA トレーニングセンターを受講し、講義・実習を通して基礎から応用まで、それぞれのステップを臨床技工に則した形で、細部にわたり非常に丁寧に御指導して頂きました。

受講内容のひとつであるセラミックワークに着目すると、ひとつに色調再現法があり、第一に基本的な知識の獲得が重要であると考えます。そこで、使用する陶材のテストピースの作製を行い、それを陶材の選択ツールとして使用することで一定の成果が得られていることなど、受講後の自身の日常臨床に於いて取り入れた知識やテクニックについて、セラミッククラウンの製作ステップを通して報告したい。

そして、もうひとつのトピックとして、補綴装着時の咬合調整が可能な限り少ない補綴製作を目指す必要があると考えます。そこで、シリコンバイト材と作業用模型調整にフォーカスした補綴製作ステップとアプローチについて報告したい。

19日(日) 午前11時

硬質レジンの豊かな色調表現法—年輪層状築盛法—

ADTAトレーニングセンター講師 加藤 雄一郎

昨今では歯科医療の中にも随分デジタル化が進んできました。保険診療では「CAD・CAM冠」、自費診療ではジルコニア等と技術の進化に驚きを隠せません。それでも日頃の臨床に今まで通りの保険技工が無くなったわけではありません。“保険の材料だから、色調はこんなものだ”ではなく、硬質レジン材料の特性を活かして、天然歯の色調表現を自分なりに考えました。ATDA トレーニングセンターにて実習を行いました「年輪層状築盛法」の紹介と簡単なデモを行いたいと思います。

愛知県歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することが出来ますので、ふるってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

【日本歯科医師会会員】 2月18日(土)

| 研修対象事業 | 研修コード | 単位数 | 掲載ページ |
|---|-------|-----|-------|
| 「ワークショップ」 ・愛知県歯科医師会認定登録医制度(臨床スポーツ歯科医) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)【旧マウスガード】 | 2499 | 1単位 | P.28 |
| ・「地域保健部Ⅰ」コーナー | 2108 | 1単位 | P.29 |
| ・「骨粗しょう症」コーナー | 2906 | 1単位 | P.29 |
| ・「地域保健部Ⅲ」コーナー | 2107 | 1単位 | P.30 |
| ・「防災対策部」コーナー | 2114 | 1単位 | P.30 |
| ・「唾液検査」コーナー | 2706 | 1単位 | P.31 |
| ・「口腔内カメラ」コーナー | 2799 | 1単位 | P.31 |
| ・愛知県歯科衛生士会(ブース全体) | 2599 | 2単位 | P.36 |
| ・愛知県歯科技工士会(ブース全体) | 2207 | 2単位 | P.40 |
| 「東海歯科用品商協同組合企画講演」 | 3102 | 1単位 | P.22① |
| | 2304 | 1単位 | P.22② |
| | 3001 | 1単位 | P.22③ |
| | 2604 | 1単位 | P.22④ |
| | 3102 | 1単位 | P.23⑤ |
| | 2501 | 1単位 | P.23⑥ |
| | 2601 | 1単位 | P.23⑦ |
| | 2801 | 1単位 | P.23⑧ |
| 「歯科に関する本なんでもコーナー」 | 2199 | 1単位 | P.44 |
| 「中部日本デンタルショー」 | 3199 | 2単位 | P.44 |

2月19日(日)

| 研修対象事業 | 研修コード | 単位数 | 掲載ページ |
|---|-------|-----|-------|
| 「愛知県歯科医学大会特別講演」 | 2305 | 2単位 | P.12 |
| 「愛知県歯科医師会企画講演」 | 2902 | 2単位 | P.16 |
| 「愛知県歯科衛生士会企画講演」 | 2899 | 2単位 | P.18 |
| 「愛知県歯科技工士会企画講演」 | 2608 | 2単位 | P.20 |
| 「ワークショップ」 ・愛知県歯科医師会認定登録医制度(臨床スポーツ歯科医) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)【旧マウスガード】 | 2499 | 1単位 | P.28 |
| ・「地域保健部Ⅰ」コーナー | 2108 | 1単位 | P.29 |
| ・「骨粗しょう症」コーナー | 2906 | 1単位 | P.29 |
| ・「地域保健部Ⅲ」コーナー | 2107 | 1単位 | P.30 |
| ・「防災対策部」コーナー | 2114 | 1単位 | P.30 |
| ・「唾液検査」コーナー | 2706 | 1単位 | P.31 |
| ・「口腔内カメラ」コーナー | 2799 | 1単位 | P.31 |
| ・愛知県歯科衛生士会(ブース全体) | 2599 | 2単位 | P.36 |
| ・愛知県歯科技工士会(ブース全体) | 2207 | 2単位 | P.40 |
| 「東海歯科用品商協同組合企画講演」 | 3002 | 1単位 | P.24① |
| | 2899 | 1単位 | P.24② |
| | 2112 | 1単位 | P.24③ |
| | 2603 | 1単位 | P.24④ |
| 「歯科に関する本なんでもコーナー」 | 2199 | 1単位 | P.44 |
| 「中部日本デンタルショー」 | 3199 | 2単位 | P.44 |

【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題)5単位に該当いたします。

【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演を受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

第31回デンタルファミリー余技総合展

を開催するにあたり



愛歯余技クラブ

会長 杉山 乗也

愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に第31回デンタルファミリー余技総合展を開催いたします。この展覧会は歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、歯学教育機関、メーカー、その他歯科関係の皆様と家族の余技作品の展覧会です。

余技は極めて幅広いもので、過去30回にわたり日本画、洋画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、絵手紙、アートフラワー等を展覧してまいりました。忙しい合間にコツコツと作品制作に取り組まれている方々が出品されています。愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーの会場に、一輪の華を添えることができると大変嬉しく思います。

また2月19日（日曜日11：30～15：00）には茶席を設けます。一服のお茶で講習などでのお疲れを癒していただき、皆様の「憩いの場、交流の場」となれば幸いです。

このデンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力をいただきました。会場の設営をしていただきました東海歯科用品協同組合をはじめ、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様はこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

皆さまの身近な県内の歯科関係者の作品ですので、ご来場の切には是非とも余技総合展コーナーにもお立ち寄り、ご高覧ください。

